

様式第1号(第6条関係)

西予健発第178号
令和5年3月17日

総務部総務課長 兵頭 章夫 様

生活福祉部健康づくり推進課長 大野本 敦

会 議 要 録

名称	令和4年度第2回西予市健康づくり推進協議会
事務局	生活福祉部健康づくり推進課
	電話 0894-62-6407
	令和5年2月28日
委員	出席 14名 西予市医師会長 織田英昭・西予市民生児童委員協議会長 正司弘・西予市社会福祉協議会長 宗正弘・西予市小中学校校長会長 賀原浩文(代理副会長岩本数明)・西予市保育協議会長 金子文・西予市連合婦人会福祉部長 宇都宮智美・西予市食生活改善推進協議会長 井上次恵・教育部生涯学習課長 竹内克之・西予市スポーツ協会会長 稲垣修二・伊賀上サロンリーダー代表 岩本きよみ・一般社団法人愛媛県ネットワーク協会代表理事 幸田裕司・西予市商工会会長 沖野健三・八幡浜保健所長 竹内豊・西予市議会厚生常任委員長 竹崎幸仁 欠席2名 ・東宇和歯科医師会長 菊池繁光・西予市老人クラブ連合会長 三瀬光一
内容	○令和4年度保健事業重点事業報告 (1)精神保健事業 西予市「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」モデル事業 保健師長 宇都宮弥生 資料を基に説明。令和5年度に自殺対策計画2次を策定予定。 各学校年1回実施を評価指標。SOSの教育を推進。 平成30年・令和元年・令和2年に20歳未満の自殺者があった。 野村小学校をモデル校として実施。 教育委員会から実施のお願いをしている。 (2)老成人保健事業

重点事業の取り組み～データヘルス計画より～

健康推進係長

権田 恭子

県死亡、①悪性、②心疾患、③脳血管疾患

循環器の方が 26%

高血圧・糖尿病対策の取組実施

残された課題

- ・未受診者対策
- ・治療中のコントロール不良者
- ・評価方法
- ・保健師・管理栄養士の質的なレベルアップ
- ・ポピュレーションアプローチの実施

高血圧対策～元気なせいよ人を増やすために～

健康推進係 上級管理栄養士 松田 美加子

第2次西予市食育推進計画重点目標のひとつである「生活習慣病予防に取り組もう」にもあるように高血圧に視点をあてて、食生活改善推進員さんを中心に「なぜ西予市民は高血圧が多いのか」でグループワークしたことを報告

○質疑応答

委員：

令和3年度にSOSの教室を実施。たすけてといえる勇気がいる。中学校・高校で考える。東京大学 自殺アセスメントツールを利用して、野村・城川中学校、野村高校でRAMPSを開始。うつ病・自殺の予想が出来る。159名中79名がアラート発生。見逃していた数の大きさを実感した。二次検査をして、関係機関へつないでいる。悲しい事件がおきないようにしたい。SOSの出し方教育はパッケージ化されているので各学校で実施しやすい。

委員：

県でもH15年頃から自殺対策に取組み現在までやっところまで進んできている。難しい問題。みんなで考えることが大事。自殺ということを経験として出してほしい。関心をもってかかわってほしい。統計的には効果は出ているが、今後も継続実施をお願いしたい。

委員：

6年生対象ということだが、低学年はどうだろうか。現在の学校では、勉強のできる子、スポーツの出来る子は大事にされているのでは。それぞれの個性を活かせるのか、子供が学校の中で立ち位置をどう見出すか。

「学校に行きたくない」という1年生。いじめの問題があるのではないか。学校の体制はどうか。

委員：

「いじめを認知することは、良し」としているのので、いじめに気付ければ、学校へ相談をしてほしい。自己肯定感を感じさせる教育をしている。自分のいい所を言える教育をしている。1.2年生は義務教育を初めて経験するので、まだ未熟であり、多少のトラブルはある。町ぐるみで支えていくような流れである。校長・教頭に相談をしてもらえれば良い。

委員：

自殺行為が低年齢化している。3.4年生の事業をしてもらったらどうか。

事務局：

思春期には不安や悩みを大きく、自分たちで解決できないことは、大人に相談できることを知るために思春期がはじまる6年生で実施した。

3.4年生で実施した市もあるが、5.6年生の方が効果的という意見があった。

西予市でどうしていくかは今後検討したいと思う

委員：

自殺の問題が大きい。低学年からの指導も必要。いじめの問題は、相手に、家族に伝える教育が大事と思っている。

深掘りし、継続した指導が必要。社会教育が必要。深堀しながら、学校のみならず、家庭・行政と連携すること大事

委員：

自殺の八幡浜管内の統計をみると、西予市多い、大変な課題と考える。文科省が被害者を救済しなさいというが、加害者をケアしなければ、解決しない。その背景に何があるのか。

各学校・地域で前向きにとらえてほしい。

委員：

成人保健の予防重症化、血管系の病気が非常に多い。医師会でも会員に資料を提供している。食事の調査について、大変良いことを言っていた。加えて、汁物の問題が重要と考えている。塩分7.5gの食事は一般の人には難しい。10gから始めてはと思う。冬と夏の塩分の取り方の違いの注意も加えるべきではないか。

委員：

「評価指標をどうするか」については、全体の数値的なことと個人変化両方を考えることが今後も必要だと思う。

(3) その他

事務局

コロナウイルスワクチンの接種状況について3月末で終わると伝えて

	<p>いたが、継続するというので進んでいる。</p> <p>高齢者・医療従事者等 5月から接種がはじまる。</p> <p>9月以降に市民全体を対象にした接種を予定している。</p> <p>重症化リスクの高い方は、年2回接種になる。</p>
資料	令和4年度第2回西予市健康づくり推進協議会

概要

年度	2004年度～
カテゴリ	行政一般
審議会名	西予市健康づくり推進協議会
公開開始日	
審議会の概要	<p>西予市健康づくり推進協議会は、健康増進法等関係諸法令に定める保健事業の円滑かつ効果的な推進を図るため設置している。</p> <p>協議会の開催(年2回)は会長が招集し、健康づくり計画や各種保健事業の計画および実績に関する事項について審議します。</p> <p>なお、委員は、医療・保健・福祉を代表する関係(16名・・・必要に応じ市長が増減できる)へ市長が委嘱しております。</p>